

第22回日本精神保健看護学会

学術集会のご案内とご挨拶

新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとりまして、幸多き年であることを願っております。

昨年は東日本大震災で多くの方々の命が奪われ、また家族が離れ離れになるという人間の力ではどうしようもない出来事に遭遇いたしました。特に被災に遭われた方々やお亡くなりになられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、1日も早い被災地の復興、被災者の方々の回復を願っております。

看護界でも、大震災の時の看護職としての対応、特定看護師（仮称）関連の話題も多く、私たち看護職はどのような力をつけていく必要があるのか、また日本において看護や高度看護実践がどのような方向へ進めばいいのかを、改めて見直す時期でもありました。

このような社会の大きなうねりの中で、第22回日本精神保健看護学会学術集会を開催し、「精神科看護とは」「精神科看護における高度看護実践とは何か」を皆様とともに検討できることは、喜びであり、また緊張や不安も押し寄せてきます。

そして今回、あらためて患者や家族に貢献できる看護とは何か、患者や家族の体験に沿いながらも専門家としての力をどうつけていけるのか、またそのために必要とされる研究や実践・教育は何か、また私たちに必要な「根拠」とは何かを高度看護実践に限らず、精神科看護全体を通して考え直してみたいと思っております。

海外からは高度看護実践家（Advanced Practice of Nurse, APN）の中でも、Nurse Practitioner（NP）として活躍のサンフランシスコ大学のロビン・ブッカー先生およびCNSとして活躍されてきましたルイーズ・トライグスタッド先生（サンフランシスコ大学名誉教授）をお招きし、精神障害者の地域生活促進のための行動マネジメントプログラムに関する話しをして頂きます。またシンポジウムでは「患者・家族の体験および研究を統合した先駆的看護実践」について、リエゾン精神看護専門看護師、認知症治療、精神科救急・急性期治療、長期入院および再入院を繰り返す患者への退院支援と地域生活継続支援という話題で、福嶋好重先生（横浜市立市民病院リエゾン精神看護専門看護師）、池田学先生（熊本大学大学院生命科学研究部脳機能病態学教授）、宇野木照代先生（菊陽病院看護師長）、中山洋子先生（福島県立医科大学教授）にお話しを頂き、現在の精神医療・看護における実践や研究の実態と課題について述べて頂きます。さらに、ワークショップでは、日本精神保健看護学会の理事会企画として「東日本大震災においてできること？」を、昨年に引き続き開催したいと考えております。また日本精神保健看護学会と日本専門看護師協議会精神看護分野の協会で「高度看護実践家のためのケア・プロトコールⅡ」について紹介をしたいと考えております。

他にも「WRAP（元気回復行動プラン）、「うつ病のリワークプログラムと地域生活支援」などホットな話題をもとに指定ワークショップを準備しております。

現在、大会のホームページ上にて、演題およびワークショップの募集を行っておりますので、多くの皆様に投稿していただき、また大会へご参加いただければと思います。

皆様のお越しをお待ちしております。

第22回日本精神保健看護学会学術集会

大会長 宇佐美 しおり

大会テーマ「根拠に基づく精神看護の実践

－患者・家族の体験及び研究を統合した先駆的看護実践」

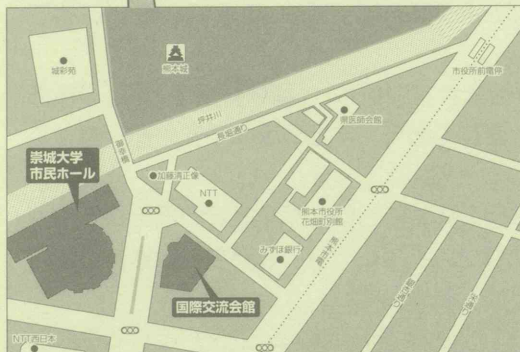
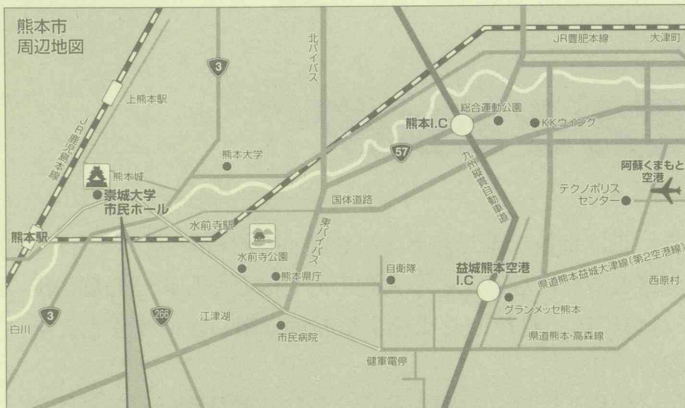
会長 宇佐美しおり（熊本大学大学院生命科学研究部、精神看護学、教授・精神看護専門看護師）

日時：平成24年6月23日（土）・24日（日）

場所：崇城大学市民ホール・熊本国際交流会館

*平成24年4月1日以降「崇城大学市民ホール」から
「市民会館崇城大学ホール」へ愛称が変更となります。

会場への交通アクセス



崇城大学市民ホール
■所在地
〒860-0805
熊本県熊本市桜町1-3
TEL(096)355-5235
FAX(096)355-5239

熊本国際交流会館
■所在地
〒860-0806
熊本県熊本市花畑町4番9号
TEL(096)359-2020
FAX(096)359-5783

■ JR熊本駅からは熊本名物の市電が便利です。
駅前の市電乗り場からどれに乗っても会場近くまで行きます。
1.市電(所要時間約15分)
熊本城前電停下車、徒歩5分
2.タクシー(約10分)

■ 阿蘇くまもと空港からは空港バスで交通センターまで
1.空港バス(所要時間約50分)
交通センター下車、徒歩2分
2.タクシー(約40分)

*平成24年4月1日以降「崇城大学市民ホール」から
「市民会館崇城大学ホール」へ愛称が変更となります。

2. 10:30-12:15 基調講演

『Evidence-Based Psychiatric Nursing for Community-Based Patient Care: Behavioral Management of Auditory Hallucinations』(精神障害者の地域生活にむけた根拠に基づく精神看護の実践－患者自身のセルフケアと行動マネジメントに焦点をあてて－)

司会：宇佐美しおり

Dr. Robin Buccherri

(RN, DNSc, MHNP, FAAN, Professor, University of San Francisco, School of Nursing)

Dr. Louise Trygstad

(RN, CNS, DNSc, Professor Emerita in the School of Nursing, USF)

3. 12:30-13:20 ランチョンセミナー

司会：鈴木 啓子（名桜大学人間健康学部教授）

4. 13:30-15:00 理事会企画ワークショップ

「東日本大震災後において、今できること？」

司会：田中美恵子（日本精神保健看護学会理事長、
災害支援特別委員会委員長、
東京女子医科大学看護学部教授）

5. 15:15-17:00 ワークショップ

1) 日本精神保健看護学会・日本専門看護師協議会共催
ワークショップ：

「高度看護実践家のためのケア・プロトコルⅡ」

司会：野末 聖香（慶応義塾大学看護医療学部教授）

2) 指定ワークショップ①：

「WRAP（元気回復行動プラン）から学びリカバリーとセルフケア」

坂本 明子先生 他（NPO法人WRAP研究会、
久留米大学医学部精神神経科学教室）

司会：安藤 幸子（神戸市看護大学教授）

<プログラム>

●平成24年6月23日（土）●

受付（9:00開始）

1. 9:30-10:15 大会長講演

宇佐美しおり（熊本大学大学院生命科学研究部、
精神看護学教授・精神看護専門看護師）

司会：中山 洋子（福島県立医科大学看護学部教授）

3) 指定ワークショップ②:

「うつ病のリワークプログラムと地域生活支援」

山口 律子先生 (日立キャピタル株式会社ビジネスサポート部課長、保健師)

司会: 遠藤 淑美 (大阪大学大学院医学系研究科准教授)

4) ワークショップ (公募による)

●平成24年6月24日 (日)●

受付 (8:30開始)

1. 9:00-11:30 一般演題発表
2. 12:30-13:15 総会
3. 13:30-16:00 シンポジウム

「精神看護における患者・家族の体験及び研究を統合した先駆的看護実践」

司会: 野末 聖香 (慶應義塾大学看護医療学部教授)

江波戸和子 (薫風会山田病院 CNS)

1) リエゾン精神看護における精神看護専門看護師の活動実態と成果

福嶋 好重 (横浜市立市民病院、リエゾン精神看護 CNS)

2) 認知症治療における先駆的実践・研究

池田 学 (熊本大学大学院生命科学研究部、脳機能病態学、教授)

3) 精神科救急・急性期治療ケア・マネジメントの実践と研究

宇野木照代 (菊陽病院、看護師長)

4) 長期入院患者、再入院を繰り返す患者の退院支援と地域生活継続支援

中山 洋子 (福島県立医科大学看護学部、教授)

指定発言: Dr. Robin Buccheri, and Dr. Lousie Trygstad

4. 16:00 終了

※なお、プログラムの詳細につきましては、順次、第22回日本精神保健看護学会学術集会HP (<http://japmhn22.umin.jp/index.html>) に掲載いたします。

＜一般演題およびワークショップの募集＞

一般演題は、口演での発表としております。成果の発表はもちろん会員の皆様が日々努力していらっしゃる実践や研究を検討し、深める場として、どうぞふるってお申込みください。また、会員の皆様から幅広くワークショップの企画を募集いたします。皆様のご応募をお待ちしております。

1. 一般演題登録方法と査読について

演題募集は、UMINオンライン演題登録システムを利用し、学術集会HPからのオンライン登録のみ受付いたします。郵送による応募は受け付けませんのでご注意ください。

学術集会HP「演題募集」ページにあるご案内をご確認後、「登録」ボタンをクリックして、演題登録画面にお進みください。

* 演題登録期間中は、何度でも演題の修正・削除が可能です。

* 演題採択結果については、3月中に筆頭発表者にご連絡いたします。

■演題応募資格

発表者・共同研究者は全て本学会会員であることが必要です。非会員の方が本学術集会で発表を希望する場合は、日本精神保健看護学会HPの「入会のご案内」を参照いただき、入会申し込み手続きを行ってください。

■オンライン登録についての注意

* UMINオンライン演題登録システムでは、Internet Explorer、Netscape、Safari (ver.2.0.3以降)、FireFox以外のブラウザでは演題登録できません。

* 演題名の制限文字数は、全角70文字です。

* 抄録は、全角で3,000文字まで、図表がある場合は2,010文字までとなります。(登録可能な図表形式はJPEGもしくはGIFとなります。)

* 登録可能な最大著者数(筆頭発表者+共著者)は20名、最大所属施設数は10施設です。

■演題登録番号とパスワード

* 演題登録が終了すると同時に、演題登録番号が発行されます。演題登録番号が発行されるまでは演題登録は終了していませんので、ご注意ください。

* パスワードと演題登録番号は、抄録内容の修正や演題の採否確認、お問い合わせ時に必要となります。パスワードと演題登録番号は、必ず書き留めるか、その画面をプリントアウトして保存することをお勧めします。

* 演題登録の受領はE-mailで行ないます。演題登録受領のE-mailが届かない場合は、運営事務局までご連絡ください。

■査読について

学術集会では、一般演題の査読を行います。査読は、倫理的配慮及び抄録としての適切性に焦点を当てて行います。

* 研究において実施された倫理的配慮の具体的な内容を明

記してください。大学や施設の倫理委員会に通っていただければ、その旨の記載をしてください。

- * 研究報告の場合は、研究目的、方法、結果、考察など、研究抄録としての体裁を整えてください。実践報告の場合は、実践の目的と内容、成果、今後の課題など実践報告としての体裁を整えてください。

2. ワークショップの申込みについて

■開催予定日時

2012年6月23日（土）15:15～17:00

（開催予定：11テーマ）

- * ワークショップを実施する部屋は、施設の関係上最大81名から最小16名と収容に違いがございます。ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。

■応募要領

学術集会HP「ワークショップ」のページにある申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、メールにてお送りください。

- * ワークショップ代表者は学会員とします。学会員以外の方は「協力者」として、ワークショップの企画にご参加いただけます。
- * 申込みが多数の場合には、調整をさせていただくこともありますので、予めご了承ください。企画採用の結果については、2012年2月下旬に各自申し込みいただいた方々にお知らせいたします。

3. 学術集会参加申込み方法

第22回学術集会への参加を希望される方は、学術集会HP「参加登録」ページにある御案内をご確認後、「事前参加登録」ボタンより参加登録を済ませられたうえで、参加費のお振込をお願いいたします。

- * HPによる事前参加登録と入金の方の確認がされない場合、事前参加登録とみなされませんのでご注意ください。

■学会参加費

・事前参加登録

（事前参加登録期間：2012年5月10日（木）正午まで）

会 員	7,000円
非会員	8,000円
学 生（大学院生を除く）	3,000円

・当日受付

会 員	8,000円
非会員	9,000円
学 生（大学院生を除く）	3,000円

■参加費のお支払いについて

参加費の払込期限：2012年5月31日（木）まで（必須）

- * 専用の郵便振替用紙または郵便局備え付けの払込取扱票（青色）によるお支払いのみとなります。なお、払込手数料は恐れ入りますが各自ご負担くださいますようお願いいたします。

- * 6月1日（金）以降に入金の手続をいただきましても、事前参加登録としてお受けできませんので、ご注意ください。（参加される場合は、当日受付にて当日料金をお支払いいただくこととなります。）

- * 専用の郵便振替用紙がない場合、郵便局備え付けの払込取扱票をご利用ください。記入の際は学術集会HPをご参照ください。

払込先の口座番号：01750-3-122723

加入者名：日本精神保健看護学会第22回総会学術集会

4. 宿泊及び昼食について

■ご宿泊について

宿泊先の手配をご希望の方は学術集会HPを通じて直接お申込み下さい。

■昼食について

当日、会場周辺の飲食店マップを準備しておりますのでご利用ください。

5. お問い合わせ先

日本精神保健看護学会

第22回学術集会・総会 運営事務局

学会サポートセンター熊本

TEL：096-373-9188 / FAX：096-373-6078

E-mail：japmhn22@higo.co.jp

（件名に「日本精神保健看護学会学術集会問い合わせ」とお書きください。）

日本精神保健看護学会

第22回学術集会・総会 事務局

熊本大学大学院生命科学研究部 精神看護学

（有松・白川）

TEL & FAX：096-373-5511, 5512

災害支援特別委員会の活動

災害支援特別委員会委員長 田中 美恵子

東日本大震災発災からもうすぐ1年が経とうとしています。被災地ではまだまださまざまな問題が山積していて、中長期支援のための新たな課題も見え始めています。日本精神保健看護学会では、昨年の総会の折に「災害支援特別委員会」の設置を提案し、会員の皆様のご賛同を得て、災害支援特別委員会の活動を展開しています。ここでは、委員会の活動報告をさせていただくとともに、今後の活動予定についてお知らせいたします。

災害支援特別委員会は、「東日本大震災の被災者支援のために有用な情報を収集・発信し、関係する学会や団体等と連携して可能な限り支援活動を

を推進すること、および被災者支援を行う看護職者の心の健康をサポートすること」を目的に、3月18日の災害支援事務局（野末聖香事務局長）の設置を先駆けとして、6月の総会時に設置されました。

活動の焦点として、1. 災害支援に役立つ情報の発信、2. 心のケアに関する研修会の開催、3. 他団体との連携活動、4. 被災者支援を行う看護職者の支援の4点を置いています。当初は、HPからの情報発信、研修会の開催を中心に活動し、4月と5月には、東京、神戸で「災害による心理的影響と被災者・援助者のこころのケア」をテーマに、近澤範子理事を講師として、被災地支援に行かれる看護者を対象として研修会を開催しました。また6月の学会開催時には、理事会企画セミナーとして「看護師による災害支援の実際ー私たちはどうしたか？」を開催し、岩手、宮城、福島でそれぞれ活発な支援活動を展開されている会員の安部寛明氏、高橋葉子氏、大川貴子氏の報告を聞く機会を設けました。

8月には、学会が編集協力する形で、『Nursing Today』（日本看護協会出版会）に発災3か月までの看護者による心のケア活動をまとめるとともに、中長期支援を見据えて「これからケアにあたる看護職へのメッセージ」を掲載しました。

その後は、看護師・保健師等の支援者支援に焦点を当てて活動を展開することに定め、被災地とのネットワークを作ることに力を傾けてきました。幸い、さまざまな方々のご尽力もあり、活動を通して、次第にネットワークが形成されてきました。現在は、

1. みやぎ心のケアセンター、宮城県看護協会の共催による「**気仙沼の看護師支援**」

2. 宮城学院女子大学発達科学研究所、国際基督教大学高等臨床心理学研究所、熊本大学大学院生命科学研究部との共催による「**震災復興支援ジョイントプロジェクト**」（震災復興心理・教育臨床センターで行う合同プログラム）

の2つの企画を中心に活動をしています。

1. の「気仙沼の看護師支援」では、気仙沼に出かけ、看護師を対象にサポートグループを行っています。10月に1度開催し、次は2月4日に開催予定です。

2. の「ジョイントプロジェクト」は、①復興支援にあたる看護師・保健師からの相談対応と心理的支援、②災害



気仙沼で行われた看護師支援で講演する高橋葉子氏

弱者である精神障害者の支援にあたる看護師・保健師、その他の医療福祉職を対象とした、精神障害者への対応方法やケアについての講演会および相談会、③震災からの心の回復に関連した講演、一般の方々を対象とした相談会を目的にしています。12月10日に「災害支援において対応に困るケースへの対応」として、グループ相談会を開催しました。今後の予定は以下の通りで、講演会とグループワークを開催します。

平成24年2月11日（土） 13:30-16:00 於・宮城学院女子大学（仙台市青葉区）

「被災者支援に携わる看護師・保健師へのケアのために」 講師：近澤 範子 氏

平成24年3月17日（土） 13:30-16:00 於・宮城学院女子大学（仙台市青葉区）

「被災者支援に携わる看護師・保健師へのケアのために」 講師：安藤 幸子 氏

*詳しくは本学会HPをご参照ください。

なお、本学会の災害支援活動に対し、「公益社団法人日本看護科学学会災害支援事業」から災害看護支援資金の助成を受けることができましたことをご報告させていただきます。

また、本学会の災害支援活動を、平成23年12月3日に高知で行われました日本看護系学会協議会第14回シンポジウム「東日本大震災ー今、求められる看護系学会の活動Part II」で発表させていただきました。

今後も、心のケアに焦点を当て、復興支援のための活動を展開していきたいと思っています。会員の皆様のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

（災害支援特別委員会委員：安保寛明、宇佐美しおり、大川貴子、木戸芳史、小山達也、高橋葉子、田中美恵子、近澤範子、濱田由紀、山内典子、災害支援特別委員会協力委員：阿部幹佳、嵐弘美、安藤幸子、異儀田はづき、川名典子、佐藤寧子、近田真美子、安田妙子）

教育活動委員会より ワークショップのお知らせ

テーマ：地域と病院医療を繋ぐ活動で検討中

シンポジスト：調整中

日時：3月24日（土）13:30～16時頃まで

場所：宝塚大学看護学部（大阪梅田キャンパス）
大阪市北区芝田1丁目13番16号
JR大阪より徒歩10分
阪急梅田より徒歩5分

定員：100名

参加費：無料

詳細は1月末にHPに公開します。

1月末にメール登録会員にはメールで、お知らせします。



マイページ (会員専用ページ) のご案内

日本精神保健看護学会では、2011年10月よりホームページ上にマイページ (会員専用ページ) を導入しております。マイページでは、以下のことが可能ですので、ぜひご活用ください。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更、年会費納入状況の確認
2. 学会の発信する情報のメール受信 (希望者) の設定

マイページへアクセスしていただき、登録内容のご確認・ご変更をお願いいたします。

日本精神保健看護学会 マイページアクセス方法

- ① 日本精神保健看護学会ホームページ <http://www.japmhn.jp/> へアクセス
- ② マイページをクリック
- ③ ID (10桁の会員番号) と「パスワード」(2011年10月郵送にて送付) を入力し「ログイン」をクリック

ログインすると、このような画面で登録情報の確認や変更ができます。

会員のページ

会員番号	会員名
9999999999	国際 太郎

- 「機種依存性の文字」を使用されますと文字化けなど、内容が正しく反映されない場合がありますのでご注意ください。[機種依存文字の説明はこちら](#)

パスワード変更	初回ログイン時の「パスワード」は、事務局でランダムに作成したものです。パスワードは、このメニューから個人で定期的に変更されることをお勧めします。 変更後、登録されているメールアドレスに確認メールを送信します。	画面へ
会員情報の変更・確認	掲載済みの会員情報は、事務局で保管しておりますデータベースをもとに作成しております。掲載内容を各自でご確認いただきまして、正しい情報にご修正くださいますようお願い申し上げます。 変更後、登録されているメールアドレスに確認メールを送信します。	画面へ
年会費納入照会	年会費納入状況を確認できます。「データ更新日」までの入金状況を表示しています。	画面へ
ログアウト	ログアウトします。	ログアウト

編集委員会より

日本精神保健看護学会誌では、投稿論文を募集しております。
随時受付となっておりますので、ぜひご投稿頂ければと思います。

また最近査読後の投稿の取下げが増えております。

正当な理由なくして取下げはできかねますので、ご了承頂ければと思います。

また再投稿の場合には、再投稿期間を延長することができますので、この件についても
日本精神保健看護学会事務局へお尋ねください。

皆様のご投稿をお待ちしております

編集委員長 宇佐美 しおり

ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々と共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報委員会で検討させていただきます。皆様からの原稿をお待ちしております。

The Japan Academy of
Psychiatric and
Mental Health Nursing

*News
Letter*

編集後記

▼今年には年賀状を書けないまま新年を迎えてしまいました。
▼いただいた年賀状を拝見しつつ、年頭の思いを新にしました。
▼東日本大震災の発生から10ヶ月、多くの方が困難な状況の中で深い祈りと願いをこめて新年を迎えられたことと思います。
▼震災後の日々は、一日一日を大切に生きること、できることに精一杯取り組むことの意義を改めて実感した日々でもありました。
▼互いを思いやり、寄り添う中から生まれる力こそが閉塞状況を拓いてゆくことを信じて、前に進んでいきたいと思っております。
▼このニュースレターが、学会員一人ひとりの力をそれぞれのネットワークと学会活動の大きなパワーに繋ぐ架け橋の一つになりますように。

広報委員会 ホームページ担当：萱間 真美 ニュースレター担当：近澤 範子

(お問い合わせ先) メールアドレス: noriko_chikazawa@cnas.u-hyogo.ac.jp

TEL/FAX : 078-925-9430